

図書だより

令和3年 6月号
2年1組図書委員協力

6月になりました。みなさん、お元気ですか？ジメジメ暑い季節が続きますが、元気に乗り越えましょう。さて、先日第75回愛媛県総合体育大会がありましたね。出場した選手の皆さん、お疲れ様でした。引退した3年生は、これから受験勉強に切り替えていきましょう。期末試験が今月末にあります。早めに備えて1学期をいいかたちで締めくくりたいですね。

My Favorite Books

今回は、村上 浩二教頭先生です！！

Q簡単な自己紹介をお願いします。

今回の異動で、西条高校からまいりました。教科は理科で、今年度は1年生の「化学基礎」を担当しています。前任校では、課題研究も担当していましたので、理科の実験等に興味のある人は声をかけてください。また、ダンボールで工作することが好きで、今までに勤務した学校でもいろいろなものを作ってきました。本校でもぜひ何が作ってみたいと思っています。やってみたいという人がいましたら、一緒にやってみませんか。



Q高校時代(大学時代)に感銘を受けた本を教えてください。

高校・大学時代に感銘を受けた本というのは特にはないのですが、最近は娯楽として推理小説を読むぐらいです。東野圭吾氏や西村京太郎氏などを読みますが、湊かなえ氏の作品は人物設定が細かく、リアルな人物像がおもしろいです。また、一つの事象に対して異なった登場人物による見方や感じ方が書かれており、日常生活でも他人と意見が食い違うことがあるなあと感じ、共感します。

今までに感銘を受けた本は、渡辺和子著の「置かれた場所で咲きなさい」です。うまくいかないとき、人は他人のせいにして、自分の置かれている環境が恵まれていないからだと考えがちです。著者の渡辺氏も、自分が望んでいない役職に就くことになり、妬みや嫉妬から周囲の人に冷たく当たられるようになりました。自信を喪失し、思い

つめていたとき、「置かれた場所のせいばかりにして、自分が変わる努力をしなければ、決して幸せを得ることはできない。置かれたところで咲きなさい」という言葉に励まされ、自分の考え方を变えることで、周囲の人も変わったという実話です。「どうしても咲けない時もあります。雨風が強いとき、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花がより大きく、美しいものとなるために。」

Qみなさんに読んでほしい本を教えてください。

今西乃子著の「犬たちをおくる日」を紹介したいと思います。著者の今西氏は動物が好きで獣医学部に進学しました。しかし、就職先は愛媛県動物愛護センターで、犬や猫を殺処分する施設に勤務することになりました。そこでの葛藤から、一匹でも命を助けるために自分にできることはないかと考え奮闘する職員の実話です。ペットブームの今だからこそ読んでほしい一冊です。

Q三高生に一言！

高校生活は、勉強や部活動と忙しい日々だと思います。ただ、なんとなく時間を過ごしていると、「あっ」という間に過ぎていきます。忙しいときだからこそ、意識的に自分の時間を作り出すようにしましょう。読書ができる時間を持つことは、高校生活にゆとりをもたらすことでしょう。

ご協力ありがとうございました！！



読書マラソンのおしらせ

図書館では読書マラソンを行っています。図書館入口にある読書マラソンPOPカードに書名、著者名、感想を記入して図書館の先生に提出してください。スタンプ台紙にスタンプを押してもらえます。たくさん貯めると図書カードをプレゼント！みなさんが書いた感想は、図書だよりに使わせていただきたいと思います！読書マラソンで読書の楽しさを広げていきましょう♪



知ってトクする図書館コラム

紹介します。

○世界で1番本を読む国はインド！

週あたり、平均で10.7時間も本を読むそうです。ちなみに日本は、4.1時間です。皆さんは週に4時間、読んでいますか？



○世界で1番長い小説はどれくらい長い？

「失われた時を求めて」マルセル・プルーストの作品。文字数はなんと、960万9000文字。日本語訳版では、400字詰め原稿用紙10000枚分だそうです。1日10枚読んでも、1000日もかかってしまいます。ただ長いだけでなく、文学的評価も高く、世界的に愛読されています。気になる人は読んでみてはいかがでしょうか？